

＜第5回 若林地域会議 会議録＞

日 時 令和7年8月22日（金） 19:00～20:45
場 所 若林交流館 多目的ホール
出席者 委 員 14名
事 務 局 吉澤支所長、中野副支所長、松原副主幹、倉地主査
オブザーバー 太田市議、村中館長

1 会長あいさつ〈省略〉

2 報告事項

（1）第4回若林地域会議会議録について

高岡支所より報告

- ・まちづくりビジョン改訂に向けたグループワークの結果を資料にまとめたこと及びフォーマットを変更したこと。
- ・次回地域会議のグループワーク内容。

（2）名古屋大学減災館バスツアー実施報告

高岡支所より報告

- ・令和7年7月26日（土）に実施したこと。
- ・支所からこども17人、大人11人の計28人で参加し、うち6人が若林であること。
- ・体験プログラムとして水の浸食、まんだらチャート等こどもたちが楽しめるものがたくさんあったこと。

（3）高岡ファンまつりについて

高岡支所より報告

- ・令和7年9月20日（土）に開催されること。
- ・昨年度より規模が大きく、会場は高岡コミセン、六鹿会館、高岡運動広場、農村環境改善センターの4つであること。
- ・ラリーカーのデモランを実施すること。

3 協議事項

（1）若林まちづくりビジョンの改訂

高岡支所より説明〈資料3参照〉

- ・主な作業内容については「まとめる」「移動させる」「削除する」の3つ。
- ・グループワーク形式で議論すること。

〈委員〉書記は会議録に付属としてついているグループワーク結果という資料に、今回のグループワークで出た意見を記入すればよい。

〈事務局〉それでよい。もしくは前回の個人ワーク結果という資料があればそれでも構わない。

～グループワーク結果は別紙参照～

(2) 令和8年度若林地域課題解決事業の計画について

高岡支所より説明

・令和8年度の地域課題解決事業の計画について。

〈委員〉自転車演習について、どんなことを指導していくのか。

〈事務局〉現段階で指導項目までは考えていない。あくまでも令和8年度に実施する事業として説明をただけである。

〈委員〉小学生向け自転車演習とあるが、小学生で自転車通学している子はいない。

〈事務局〉中学校にあがったときに自転車が上手に乗れるように事前に練習するプログラムと考えている。

〈委員〉今は交流館前の交差点で高岡中学校の校長先生が毎朝立って、こどもたちが安全に横断できるようにしている。実情を知るために1週間行ってみたが、本当に自転車が上手ではない子もいて危険だと感じた。親任せではなく、地域でサポートしてあげたいと思う。

〈事務局〉予算化に向けてこのように表現しているが、やり方は今後検討していこうと思っている。

〈委員〉予算を取るなら交通指導員を置いた方が良いのではないか。数回講習会をやったからと言って、上手になるとは限らない。

〈事務局〉やり方は考えていく。

〈委員〉自転車について、道路交通法が変わって青切符をきられるようになるが、その教育はしていくのか。

〈事務局〉自転車演習の内容については、今後の地域会議で意見をもらい、それをもとに組み立てていく。今回の協議事項としては具体的な内容ではなく、予算化に向けてこの事業内容で良いかという議決のため、その視点での意見がほしい。

4 その他

(1) 「地域自治システムに関するアンケート」について

高岡支所より説明

〈委員〉設問3で「令和6年度以降に就任した人はわからないを選択してください」と書いてあるが、設問3の選択肢に「わからない」がない。どれにチェックをすればよいのか。「行っていない」を選択すればよいのか。

〈事務局〉「行っていない」を選択してほしい。

事務局より令和7年8月22日に出されて「交通死亡事故多発非常事態宣言」について説明。

★次回開催

第6回定例会：令和7年9月19日（金）午後7時から 場所：若林交流館多目的ホール

【グループワーク結果】

若林地域の将来像を実現するための方向性・取組

3つの大きなポイントのもとで、それぞれ課題と方向性、取組例を示しました。なお、取組例はあくまで例であり、方向性を踏まえ若林地域に必要な取り組みを考え実践していきましょう。

【ポイント1】安心して暮らせるまち！

【安心・安全なまちづくり】

地域住民が連携し、防災や防犯などの意識を高め、安全で安心して暮らせる地域を目指しましょう！

（１）防犯の充実

（課 題）犯罪に対して不安を感じている住民が多い。

（方向性）子どもや高齢者、女性など、誰もが安心できる環境づくり

①地域内の危険箇所を確認し犯罪が発生しない環境にしよう！			
防犯灯・防犯カメラ等の設置による危険箇所の除去	地域 ・防犯灯の見直し及び設置数増	共働 ・防犯マップの作成・危険箇所の把握	行政
②防犯に対する知識を身につけよう！			
防犯講習会・勉強会の開催	地域	共働	行政 ・こども向け、高齢者向け、親子参加型の防犯講習会の開催
地域での犯罪情報の共有化		・防犯対策事例集の配布 ・防犯チラシの配布	
③地域全体で子どもの見守りを行おう！			
地域コミュニティによる防犯・見守り活動の促進	地域 ・ウォーキングや犬の散歩時の見守り ・遊び場や学習の場としての自治区施設の開	共働	行政

	放 ・あいさつ・声掛け運動 の実施		
--	-------------------------	--	--

(2) 防災の充実

(課 題) 南海トラフ地震など、大規模地震など将来への不安がある。

(方向性) 大規模地震や大雨による水害などによる被害を最小限に抑える取組

①防災に対する知識を身につけよう！			
住民の防災意識向上と家庭での備えの推進	地域	共働	行政
	・各家庭でのリスクアセスメント	・防災イベント・防災講習会等の開催	・自助の重要性、災害時の問題等の公開
②若林地域の防災体制・仕組みをつくろう！			
自主防災会の充実	地域	共働	行政
	・各自治区の災害時の連携体制の構築	・地域の防災リーダーの育成	
参加しやすく継続可能な防災訓練の工夫	・地域の防災訓練に多世代で参画してもらう(こども、先生)	・みんなが参加したくなる防災訓練の実施	
③実際の災害を想定した防災訓練を実施しよう！			
実践的避難所運営訓練の推進	地域	共働	行政
		・避難所運営ゲーム(HUG)の実施 ・実際の避難所での運営体験の実施	

(3) 交通安全の充実

(課 題) 交通事故に対する不安がある。

(方向性) 歩行者も運転者も安心できる環境づくり

①交通安全・交通マナーに対する知識を身につけよう！			
	地域	共働	行政

歩行者、自転車に対する重点教育		・交通安全講習会等の開催 ・自転車を利用する学生、一般成人へ法律を含むマナーの講習 ・自転車の交通ルール講習（大人、子ども）	
交通安全情報の効果的な発信			・道交法改正情報の展開（R8 自転車関連等） ・年代別、対象車両別に絞り込んだリスク事例集
②交通事故を未然に防ぐ環境を整備しよう！			
地域ぐるみで危険箇所の調査及び除去	地域	共働	行政
	・路面着色などによる歩道・車道空間整備の要望		・道路にはみ出た見通しを悪くしている草木をなくす
③子どもの登下校の見守りを行おう！			
地域コミュニティによる防犯・見守り活動の促進	地域	共働	行政
	・ウォーキングや犬の散歩時の見守り ・地域の団体等による子どもの見守り		

【支えあうまちづくり】

住民同士のつながりを深め、お互いを支えあえる地域を目指しましょう！

（１）地域を支える人材づくり

（課 題）地域の活動を支える人材が減少している。

（方向性）地域住民が持つ知識・技能を活かし活躍する人材の発掘及び人材の育成

①知識・技能を持った人材を発掘しよう！			
知識や技能を持つ	地域	共働	行政

た住民の把握	・求める知識、技能リストの明示 ・地区ごとにおやじの会を作り、コミュニケーションを図る	・若林スペシャリスト名鑑の作成	・各種養成講座等を受講した人材のデータベース化の検討
②必要な知識・技能の向上を図る機会を提供しよう！			
学び合い・取り入れによる地域力の強化	地域	共働	行政
		・各種養成講座等の情報発信（回覧、SNS 両方を使った若林地区の講座、勉強会のスケジュール一覧を発信） ・他地域の取り組みを調べる、視察する、マネする	・各種講座や勉強会、スキルアップ研修等の開催
③子どものころから地域の実践に参加しよう！			
地域の行事やイベント等の企画段階での子どもの参画	地域	共働	行政
	・こどもマルシェ開催 ・こども会活動への援助		

（２）地域を支える仕組みづくり

（課 題）地域住民がお互いに支えあえる仕組みづくりが求められている。

（方向性）個人や団体など、地域住民同士が支えあえる体制を整える

①気軽に相談できる体制をつくろう！			
自治区等での困りごと相談体制の充実	地域	共働	行政
			・福祉の相談窓口（高岡支所）の住民周知
②地域住民が積極的に参画したくなる仕組みをつくろう！			
住民が持つ知識や	地域	共働	行政

技能が生かせる仕組みづくり		・持っている技能や趣味などを気楽に発表したり体験できる場を作る	
参加しやすい地域活動体制の整備	・入退会が自由に感じられるチーム作り		
③地域の活動団体が活躍できる仕組みをつくろう！			
活動団体への勧誘	地域	共働	行政
	・活動の一日体験など団体外の人に知ってもらえる日を作る ・各団体の不要な活動を減らし気軽に参加できるようにする		
団体の活動を通じた支え合い支援			
地域の課題解決に向けた団体同士の協力体制づくり			

(3) 地域住民の絆づくり

(課 題) お互いが支えあえる環境とするためには住民同士の繋がりが必要。

(方向性) 地域住民同士が気軽に話しふれあえるまちにする

(取組)

①地域住民がふれあう機会を充実・創出しよう！			
地域のお祭り等の活性化	地域	共働	行政
子どもをメインにその家族も参加するイベントの開催			

②多世代が交流できる機会を充実・創出しよう！			
多世代のふれあいの場づくり	地域	共働	行政
	・環境美化活動に子どもと一緒に参加する	・親子で参加するイベントの開催	
③地域の活動団体同士のつながりをつくろう！			
団体同士の交流・情報交換の場づくり	地域	共働	行政
	・団体の活動・イベント等の情報発信	・SNSの活用	

【ポイント2】元気に暮らせるまち！

【活気あふれるまちづくり】

住民同士のつながりを深め、助け合える環境がり、まちを盛り上げるために地域住民一丸となって取り組む地域を目指しましょう！

（１）地域イベント等のさらなる充実

（課 題）地域のイベントが恒常化している、地域内外にあまり認知されていない。

（方向性）既存のイベント等の手法・内容を見直し活性化させる

①イベントの担い手として参加しやすい仕組みをつくろう！			
一部の人への負担を軽減し、広く浅く参加してもらう	地域	共働	行政
	・担い手の楽しさの情報発信 ・親子で参画できるイベント内容等の見直し ・単発参加を可能とするチーム作り ・子どもが主役になる環境整備		
②他の活動団体と連携したイベントの実施			
団体と団体がコラ	地域	共働	行政

ボしたイベントの 実施	・団体にメリットのあるイ ベントへ内容の見直し ・イベントの中に PR、交流 タイムの作成		
③効果的なイベント情報等の発信			
地域外の場合での積 極的な P R 活動	地域	共働	行政
	・若林 PR 大使の任命	・ S N S を活用した効果 的な情報発信	

(2) 新たなイベント等の創出

(課 題) 地域住民が参加しやすいイベントが少ない。

(方向性) 地域住民のつながりを深める新たなふれあいの場を創出する

①誰もが参加したくなるイベントの創出			
新企画を考えるチ ームの形成	地域	共働	行政
	・子どもや若い人達が企 画したイベントの開催 ・夏祭りが楽しみになる ような企画		
②地域住民の意見を反映したイベントの創出			
住民アンケートの 実施、アンケート結 果を踏まえたイベ ントの企画・開催	地域	共働	行政
		・ QR コードで地域の声を 吸い上げる仕組みづくり	
③若林地域ならではのイベントの創出			
若林神輿や高美町 桜並木を活用した イベントの開催	地域	共働	行政
	・大人神輿を広める、子ど も神輿も地域で実施		

(3) 地域活動団体の活性化・新たな活動団体の創出

(課 題) 地域で活動する団体があまり知られていない。また、地域を盛り上げるための新規活動団体の創出が必要。

（方向性） 活動団体が連携し地域を盛り上げる体制を整える。多くの団体が活動する地域にする

①活動団体同士のネットワークづくり			
団体同士の交流・情報交換の場づくり	地域	共働	行政
	・リモートで参加できるようにする	・団体の活動発表の場づくり	
②活動団体への支援			
自治区・支所の活動支援	地域	共働	行政
			・団体の活動内容等の積極的な情報発信 ・市や民間が行う補助制度等の情報発信

【子ども、高齢者、障がい者に優しいまちづくり】

地域住民がお互いに助け合い、支え合える地域を目指します！

（１）子育て支援の充実

（課 題） 事件・事故の危険に遭いやすい環境、子どもと地域の大人の関わりが希薄になっている。

（方向性） 子どもたちが健やかに成長でき、地域に愛着を持ってもらう

①地域住民みんなで見守り支援			
地域の住民・団体等による子どもの見守り	地域	共働	行政
	・ウォーキングや犬の散歩時の見守り		
②地域が教える子どもたちの学び支援			
高齢者が子ども達に教える学びの場づくり	地域	共働	行政
		・高齢者施設と連携し、子どもたちとの交流の場を創出 ・こども園と高齢者クラブとの連携	

地域の団体等による子どもの学び支援		・こどもたちにも先生になってもらう ・学校と協力し、出前授業の開催	
③支援が必要な子どもたちを地域で支える仕組みづくり			
学習支援や食事支援など子どもの居場所づくり	地域	共働	行政
			・場所を提供してくれる人を募る（企業支援も交えて）

（２）高齢者支援・生きがいの場の充実

（課 題）高齢化に伴う日常生活への影響、引きこもり

（方向性）生活に必要な支援の充実、健康維持、生きがいを見いだせる場を充実・拡充する

①地域で支える困りごと支援、外出時の移動手段の確保			
地域の人材を活かした移動支援	地域 ・地域の団体（お助け隊等）による困りごと支援	共働	行政
地域企業を活かした移動支援			・ライドシェアリングの推進 ・地域バス・地域タクシー等の導入検討
②元気な身体を維持する健康づくり			
健康づくり教室の実施	地域	共働	行政
子ども達と一緒にラジオ体操の推進			
③交流の場の充実、高齢者が活躍できる場の創出			
地域のふれあいサロンの充実・拡充	地域	共働	行政
高齢者が子ども達に教える学びの場			

づくり			
-----	--	--	--

（３）障がい者支援の充実

（課 題）障がいについてあまり知られていない

（方向性）障がいがあるなしにかかわらず地域住民が障がいを理解し支え合う地域にする

①障がいについての認識と理解を深める			
	地域	共働	行政
障がい者理解促進に向けた活動		・ 障害者週間（12/3～9）での啓発活動の実施 ・ 福祉施設と共働でオープンイベントの開催	・ 学校等での障がい者理解の学習
②バリアフリーを踏まえた地域活動の推進			
	地域	共働	行政
障がい等の視点にたった防災計画・イベント等の実施		・ 防災訓練で支援が必要な住民への対応検討	
バリアフリー総点検			・ 歩道整備
③心のバリアフリー			
	地域	共働	行政
障がい者理解の勉強会等の開催		・ 障がい者施設のイベント参加（イベント周知） ・ 不自由を体験する	

【ポイント３】みんなが暮らしたくなるまち！

【魅力的なまちづくり】

地域資源を活用した特徴的な取組など、魅力ある地域を目指します。

（１）移動拠点へのアクセス環境の充実

（課 題）名鉄三河線連続立体交差や都市計画道路の整備が進められているが、拠点となる駅等へのアクセス環境が充実していない

（方向性） 名鉄三河線高架化、都市計画道路整備を踏まえた拠点箇所へのアクセス等を充実させる

①拠点箇所までの移動手段の検討			
	地域	共働	行政
拠点箇所への移動手段整備			・ライドシェアリングの推進 ・地域バス・地域タクシー等の導入検討
拠点箇所周辺のハード整備			・立体駐車場充実
②拠点箇所までの歩行者空間の充実			
	地域	共働	行政
道路整備（新規・更新）の要望			・若林駅の送迎者用スペースの確保 ・車椅子も通しやすい歩道作り

（２）やすらぎ・歴史・文化を感じる環境の充実

（課 題） 魅力的な地域資源はあるがうまく活用できていない

（方向性） 日々の生活にやすらぎがあり、身近に地域の歴史や文化を感じ、イベント等の楽しみを体感できる地域にする

①やすらぎを感じる自然環境の充実			
	地域	共働	行政
逢妻男川の環境保全活動の拡充		・逢妻男川に鮎を放つ	
桜並木の保護の拡充		・桜並木の逢妻男川沿いへの延伸検討	
保全活動への多世代での参画			
②若林地域の歴史や文化を知る機会の創出			
	地域	共働	行政
若林地域の歴史・文化の継承	・地域の歴史文化のとりまとめ	・若林の歴史、文化財の展示	

	・ホームページ等による歴史 文化の情報配信 など		
③歴史・文化イベント等の拡充			
歴史文化まちある きイベントの企画・ 実施	地域	共働	行政

【世代を超えて仲良く暮らすまちづくり】

子どもから高齢者まで、誰もが暮らしやすいまちを目指します。

（１）思いやりのある人づくり

（課 題）核家族化や、世代間の交流の希薄など、コミュニケーションや相互の支えあ
いが少なくなっている

（方向性）家族や、各世代・世代間のつながりを深め、互いに支えあえるまちにする

①世代間のふれあいの場の創出			
	地域	共働	行政
こどもを中心とし たイベント企画		・子どもをメインにその家族 も参加するイベントの開催 ・子どもや若い人達が企画し たイベントの開催	
②家族と地域について考える機会の啓発			
	地域	共働	行政
家族での話し合い の機会創出	・家族の週間（11 月の 第 3 日曜日、その前後 1 週間）での啓発活動 の実施		
③三世代家族間での情報共有・情報発信			
	地域	共働	行政
世代を超えた情報 共有		・各世代が知っている情報の 共有化 ・三世代が寄りそうくらしの	

		魅力発信	
④若林地帯情報伝達網の構築			
SNS 等を活用した 情報共有の仕組み づくり	地域	共働	行政
		・若林エリアメール等情報発信手法の検討	

(2) あいさつでつながりを深める地域づくり

(課 題) 「あいさつ」は住民同士のコミュニケーションを深めるとともに、
防犯、防災、福祉など、共助につながるが、あいさつをする人が少
なくなっている

(方向性) 気軽に当たり前のように「あいさつ」できる住民を増やす

①あいさつ運動の促進			
若林独自のあいさ つ運動の実施	地域	共働	行政
	・のぼり旗や横断幕等 によるあいさつ啓発活 動	・こどもを中心に若林独自のあ いさつ言葉を作る ・各団体が順番にあいさつ運動 をする	
②声かけでコミュニケーションのきっかけづくり			
子どもの見守り時 の積極的な声かけ 運動	地域	共働	行政
③地域と学校が共同したあいさつ運動			
学校と地域が連携 した「あいさつ運 動」の実施	地域	共働	行政
		・あいさつ標語コンクールの実 施	